

【例題 1】日本の労働事情に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 完全失業率（年平均）について見ると、2019～2022年の間で上昇し続けており、2022年には5%を超えた。
- イ. 雇用形態別雇用者数について見ると、2019～2022年の間で、正規雇用労働者数は減少し続けたが、非正規雇用労働者数は増加し続けた。
- ウ. 産業別雇用者数について前年と比べた増減を見ると、「宿泊業、飲食サービス業」の雇用者数は、2021年には減少したが2022年には増加に転じた。「情報通信業」の雇用者数は、2021年、2022年ともに増加した。
- エ. 雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った、いわゆる就職氷河期世代とは、おおむね2005年から2015年に学校卒業期を迎えた世代をいい、この世代の活躍促進に向けた支援が進められている。
- オ. トラック、バス、タクシーなどの自動車運転の業務は、働き方改革における時間外労働の上限規制の適用猶予業務とされてきたが、2024年4月からは時間外労働の上限規制が適用された。

- 1. ア, イ
- 2. ア, エ
- 3. イ, オ
- 4. ウ, エ
- 5. ウ, オ

【正答 5】

【例題 2】 A～D の 4 人が喫茶店に入り、各人が、お菓子をチーズケーキ、シュークリーム、アップルパイの 3 種類のうちから 1 種類又は 2 種類選び、更に飲み物を紅茶、コーヒーの 2 種類のうちから 1 種類選んで注文した。これに関して次のことが分かっているとき正しく言えるのはどれか。

- ・アップルパイを注文した人は 2 人であり、2 人とも紅茶を注文した。
- ・A は 2 種類のお菓子とコーヒーを注文した。
- ・B は、A と同じお菓子は注文しなかった。
- ・C と D は同じ飲み物を注文した。
- ・D はお菓子を 1 種類だけ注文したが、それはシュークリームではなかった。
- ・3 人が注文したお菓子があった。

1. シュークリームを注文したのは 1 人だった。
2. コーヒーを注文したのは 2 人だった。
3. B はチーズケーキを注文した。
4. C はシュークリームを注文した。
5. D はアップルパイを注文した。

【正答 1】